

テイキンザクラ

学名 *Jatropha integerrima*

科名 トウダイグサ

別名 ナンヨウザクラ

区分 まちかど しょくぶつ
街角の植物

分布 にし しょとうげんさん
西インド諸島原産



葉の形 らんけい だえんけい
卵形、楕円形

葉の縁 ぜんえん
全縁

葉の先 どんけい
鈍形

葉の種類 たんよう
単葉

葉の付方 ごせい
互生

葉の基部

実の種類 さくか
蒴果

花・萼色 あかいろ ももいろ だいだいろ
赤色、桃色、橙色

説 明

樹高は 1-3m で、枝はやや下垂し、枝先に総状花序（柄のある花が花茎に均等につく）を出し、花の径が 2-3 cm の 5 弁花を数輪つけます。花の色は濃い紅色や桃色、橙色などです。花の後にできる実は蒴果（熟すると下部が裂け、種子が散布される果実）です。花の色が綺麗なので沖縄では庭木として植えられています。